

変形労働制ではなく、せんせいふやそう!

# 止めよう! 変形労働制 45

「止めよう! 変形労働制」ニュース No.45

全北海道教職員組合

2019. 12. 24

緊急シンポジウム～工藤祥子さんの講演より⑤

**世論が動いている今が最大で最後のチャンスかも～声を上げ続けてください**



## ●たくさんの署名(現在約53000筆)の声を届ける院内集会を開催

「小さな声を上げることが、大きな波になる」という経験を信じて、何かできないかと始めた署名でした。開始から半月で33000筆の署名と、約600ものコメントが集まりました。

こんなにもみなさんの声で大きな道をあけていただいたことはとても心強く、この声を代弁者としてきちんと文科大臣や国会議員に届けなければと感じ、国会内で院内集会ができないかと考えました。議員会館を回り、時には冷たい扱いも受けながらも、何人かの国会議員の賛同を得て、院内集会を開くことができました。

この院内集会には、馳浩元文科大臣を始めとして16人もの超党派の国会議員が出席し、一般の枠もすぐに埋まって、こんなにもこの問題が注目されているということを改めて強く感じたところです。



## ●世論が動いている今が、最大で、最後のチャンス～ともに声を上げましょう

そして、10月28日に、文科省で陳述をして、署名を手渡しました。また、衆議院議長の秘書や参議院議長、副議長にも手渡すことができました。萩生田文科相は、多くの署名が提出されたことについて、記者会見で、その不安は取り除くというコメントをしました。

この流れから、私は衆議院の、斉藤ひでみさんは参議院の参考人として呼ばれたのだと思います。私は、参考人の資料として、署名に寄せられたコメントをつけました。これは国立国会図書館に保存されるそうです。今後、教育行政で生の声として活用していただきたいと思います。

公務災害、教師の遺族は本当に声を上げることができず、孤独な活動が続きましたが、今ではたくさんの仲間ができて、声を上げられるようになりました。このようにみなさんの前でお話をする、北海道に呼んでいただくという、いい巡り合わせにもあってきました。

世論が動いている今というのが、最大のチャンスで、最後のチャンスかもしれないのです。ですから、ぜひ、ともに声を上げ続けてください。